

私たちにできることがあります

ごみ減量課 ☎027・898・6272



昨年度、市内の家庭から収集されたごみ（資源ごみを除く）は6万9,477トン。平成29年度に比べて約283トン減少しましたが、可燃ごみの中には紙や衣類、プラスチックなどのリサイクルできる資源ごみがまだまだ多く混ざっている状況です。ごみの量が多いと、処理に多くの費用がかかってしまいます。そのためごみを正しく分別して、減量することが大切なのです。

1人当たりの1日のごみ収集量は昨年度、市内の家庭から収集されたごみ（資源ごみを除く）は6万9,477トン。平成29年度に比べて約283トン減少しましたが、可燃ごみの中には紙や衣類、プラスチックなどのリサイクルできる資源ごみがまだまだ多く混ざっている状況です。ごみの量が多いと、処理に多くの費用がかかってしまいます。そのためごみを正しく分別して、減量することが大切なのです。

1日15gの減量を目指し、ミニトマト1.5個分!



7つのG活チャレンジ

グ ごちそうさま！
料理は無駄なく、適量で

食べられるのに捨てられている食べ物、全国で年間643万トン発生。食べられる量だけ買う、作る、注文するを心掛けましょう。また、家庭で余った食品の寄付をフードバンクで募集中。日々の食事に困っている人に提供するため、ご協力をお願いします。問い合わせはフードバンクまえばし（☎027・226・1591）へ。

イ 活かします！
小さな家電のレアメタル

小型家電には有用な金属がたくさん。回収してリサイクルするため、市役所や各支所などに設置している回収ボックスに入れてください。

エ 選んで持ちます！
マイはし、マイボトル、マイバッグ

繰り返し使える物を使うことで、ごみの発生を抑制できます。お気に入りのマイ〇〇を持って、使い捨てしない生活を。

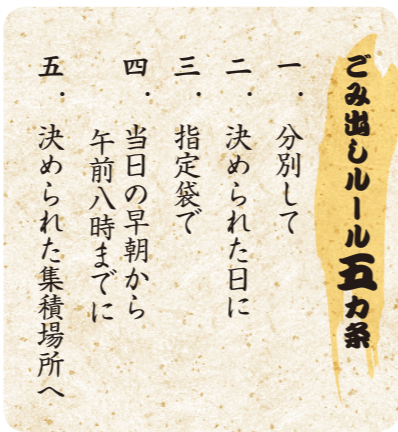
ツ 使えます！
衣類や靴や、ぬいぐるみ

衣類、靴、ぬいぐるみなどは海外で再利用。衣類は工業用雑巾としても生まれ変わります。

ト とことん分けます！
プラスチック

プラスチックとは、プラスチックやビニール製の容器包装。プラマークが目印です。

減量・分別の後は ルールを守ってごみ出しを



ごみは可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック、資源ごみ、紙・衣類等に分別して、決められた集積場所に出してください。これらを出す曜日は町ごとに決まっています。3月と9月に配布するごみ収集カレンダーを確認してください。カレンダーをなくしてしまった場合は、市役所ごみ減量課、各支所、市民サービスセンター・コミュニティセンターで配布しています。また、ごみは市指定のごみ袋に入れて出してください。市内のスーパ、ホームセンター、コンビニなどで購入できます。

外国人向けガイドブックあります

外国人向けに、易しい日本語にしたものや6カ国語に翻訳したごみの分け方出し方ガイドブックがあります。知り合いの外国人にお知らせください。下記二次元コードから見られます。



6カ国語版
ガイドブック



易しい日本語版
ガイドブック

ホームページは
こちらから



分別で悩んだときは
ごみ減量課に問い合わせるか、
ごみカレンダー、本市ホームページをご覧ください。



ごみ減量課
後藤 大輝 中島 みなみ